



2021年 10月
第171号

シーダ・ウォーカー

時事寸考

シーダ・ウォーク施設長・医師の吉田晴彦です。
新型コロナの影響でマスクや体温計が品不足になりましたが、最近パルスオキシメーターが品不足になっている



パルスオキシメーター
(コニカミノルタ社)

ようです。洗濯ばさみみたいに指先を挟んで「酸素飽和度」を測定する装置ですが、実はこれは日本で開発されたものです。1974年に日本光電の青柳貞雄という方が酸素飽和度測定の原理(後述)を発表、翌月ミノルタカメラが

独自に「オキシメーター」を開発しました。ところで私は1981年に医師になりましたが当時この機械を使った記憶はありません。当時は据え置き型で持ち運びも困難だったのででしょうか、血中酸素の測定には動脈から採血して(結構難しいです)血液ガス分析器にかけていました。

測定原理ですが、ヘモグロビンに酸素がつくと赤色光の吸収が低下することを利用して、酸素の結合度あまりかわらない赤外光の吸収と比べます。パルスオキシメーターは赤色光と赤外光を1秒間に40回交代で発射しているそうです。酸素化したヘモグロビンの割合ですから「%飽和度」なのですね。指がふるえたり、冷えて血流が減ると正確な特定はできません。また貧血の時は飽和度がよくても運ぶ酸素の絶対量は低下します。

栄養科より今月の一押しメニュー

祝 シーダ・ウォーク 10月1日(金)シーダ・ウォーク
開設記念日 の17回目の開設記念日の昼食は「赤飯・すまし汁・天ぷら3種盛り・緑野菜のポン酢ジュレ和え・フルーツ(柿)」をご用意します。

今月は他にも「さつまいもご飯」など季節感のある献立を取り入れています。旬の食材で、美味しい栄養のある食事をお届けします。



シーダ・ウォークは介護を必要とする高齢者の方と、そのご家族を支援する施設です。

- 入所 ①ロングステイ：1か月～
- ②ショートステイ：1週間程度
- 通所リハビリテーション(デイケア)

詳しくは下記までお問い合わせください。

杉並区桃井3-4-9(荻窪消防署隣)

介護老人保健施設 シーダ・ウォーク
03-5311-6262



シーダ・ウォーカー 法律相談

相続登記の申請の義務化について

2021年4月の法改正により、不動産を取得した相続人は、その取得を知った日から3年以内に相続登記の申請をすることが義務づけられました。申請をしなかった場合は、10万円の過料の罰則を受けます。この改正法は、2024年までに施行されます。

このように改正されたのは、国内に所有者不明の土地が多数あるためです。建前上は、法務局に行けば、誰でも不動産登記簿をみて、不動産の所有者を確認できる制度になっています。しかし、国内には、所有者不明となっている土地が約29%(約410万ヘクタール)あります。その面積は九州(土地面積約367万ヘクタール)を超えます。ここでいう「所有者不明」とは、①不動産登記簿をみても誰が所有者であるか直ちには分からない(たとえば、何代も渡って放置されたことで、相続人が多数であり、誰が引き継いだのかが分からない。)、②所有者が判明してもその所在が不明で連絡がつかない、といった土地を指します。



これまで、相続登記の申請は義務ではなく、申請をしなくても(将来、相続人となる子孫が困ることはあっても)現在の自分が困ることはあまりありませんでした。しかし、遺産分割をしないまま相続が繰り返されると、土地共有者がねずみ算式に増加します。さらに、都市部への人口移動や高齢化等の進展により、地方を中心に土地を利用したいというニーズも低下しています。そうすると、今後、高齢化の進展により、所有者不明の土地の問題はますます深刻化します。そこで、相続により不動産を取得した相続人は、相続登記の申請が義務づけられました。なかには、自宅として使っている不動産だけは相続登記をしたものの、先祖伝来の山や、別荘予定地として亡親が購入していた地方の土地については、相続人の誰が引き継ぐかを決めないまま、塩漬けにしてしまっているというケースもあります。

所有者不明土地の問題は、できるだけ早く解決しないと、将来の世代への負担がどんどん大きくなります。このような不動産を抱えていらっしゃる方は、お早めにご相談ください。

桜丘法律事務所 弁護士 小堀 惇

(電話)03-3780-0991 (WEB)<http://www.sakuragaoka.jp>

2021年9月25日発行 vol.171 発行責任者:吉田晴彦
編集責任者:飯田一輝 発行:社会医療法人河北医療財団
介護老人保健施設シーダ・ウォーク
〒167-0034 東京都杉並区桃井3-4-9
TEL.03-5311-6262(代) FAX.03-5311-6180
<https://kawakita.or.jp/suginami-area/cedar/>



毎日楽しく…

コロナ禍のフロアイベント

新型コロナウイルスが流行して以来、ほとんどのご利用者が屋上を除くフロア外への移動ができなくなっています。そんな中でも皆さんに楽しんでいただけるように、各フロアスタッフや企画広報委員会が感染対策に配慮しつつ、いろいろなイベントを企画しています。

お茶会

毎日の食卓を囲む7名様（1ユニット）を1組として小さなお茶会を開きました。普段は居室にこもりがちな方が、ご自分から他のご利用者のお手伝いをしてくださいました。



美味しいお抹茶を召し上がりながら、会話も弾みます♪

久しぶりに飲んだけど、
こんなに苦かったから(笑)



皆さまには、お抹茶をたたえているところと、召し上がっているところを撮影した写真をプレゼントしました

足浴

まだ暑さの続く8月末の午後。屋上で足浴を楽しんでいただきました。「夏の青空のもとで足浴をしたら、開放的な気分を味わえるし、いいのでは!？」というスタッフのアイデアを実現しました。



南国風の音楽を聴きながら、フラワーレイをかけてもらって。足浴はとっても気持ちがいいですよ～



入浴剤はリラックス効果のあるラベンダーの香りです



密を避けて開放的で贅沢な気分を味わっていただきたいと思い、私が企画しました。



仕上げにスタッフが足をマッサージ。保湿もして、「はー、気持ちいい。」

